

15. 大学生の柔道に対する意識の研究

	静岡大学	田中	秀幸
	筑波大学	中村	良三
	東京商船大学	堀安	高綾
	福岡教育大学	大滝	忠也
	茨城大学	尾形	敬史
	香川大学	村田	直樹
講道館	辻原謙太郎,	猪熊	真, 川村
			禎三
	埼玉大学	野瀬	清喜
	警察大学校	松井	勲

15. A Study of Consciousness Factors towards *Judo* in the Case of National University Students

Hideyuki Tanaka (Shizuoka University)
 Ryozo Nakamura (University of Tsukuba)
 Takaaya Horiyasu (Tokyo University of Mercantile Marine)
 Chuya Ohtaki (Fukuoka University of Education)
 Takashi Ogata (Ibaraki University)
 Naoki Murata (Kagawa University)
 Kentaro Tsujihara, Makoto Inokuma, and Teizo Kawamura (Kodokan)
 Seiki Nose (Saitama University)
 Isao Matsui (National Police Academy)

Abstract

This paper was a study of the consciousness factors that national university students possess towards *judo*. We asked 299 male students in eight national universities to respond

to a questionnaire prepared by the Kodokan *Judo* Scientific Research Center. Among the 299 subjects, 126 were *judo* athletes, while 173 were non-athletes. The following results were obtained:

1. We found eight consciousness factors for *judo* athletes and 12 for non-athletes. We focused on the first four factors from each group, as these represented 65.6 and 48.6 percent of the total, respectively.
2. Some similarity was observed between *judo* athletes and non-athletes in the following five categories: sociability, volition, emotion and feeling, vitality, and physical condition.
3. Students in the eight universities where *judo* instruction had been effectively and widely provided, considered *judo* a sport of educational value.

I. はじめに

柔道は1882年（明治15年）嘉納治五郎師範によって創設された日本古来の伝統的文化遺産である。柔術の技をその基本としながらも、身体に危険な技を取り除く、技を改善する等、体育、勝負、修心の面を考慮し、精力善用、自他共栄をその修行の理想として完成させたものである。師範の基本理念が広く浸透し、柔道を受用する人々の熱意と努力によって年々普及発展し、今や世界の隅々にまで広まり、男女とも世界選手権大会、そしてオリンピック競技の正式種目にまで採用されている。近年、諸外国のレベルアップは目覚ましく、日本においても競技力向上等のため、各方面での精進が求められている。

柔道修行の目的は千差万別であるが、我々大学において、平素柔道を通して学生を教育し、人間形成をその目的とする者にとっての課題は、いかに柔道を通して教育を進めていくのかであろう。大学において、体育を学生に履修させる目的の一つに「体育・スポーツに対する認識をより健全なものに育てあげること」が考えられ、また課外活動において、各種スポーツ活動の実施のために「学生のスポーツに対する意識」を知っておくことも必要である。全国の大学の柔道部員及び一般学生は、柔道に対してどのような意識を持っているのかを理解しておくことは重要なことである。体育におけるより良い授業、さらに課外活動指導のため、指導者として指導上の理念、柔道の理解と普及発展、また学生指導の一助として、将来社会の指導的立場に立つ学生の柔道に対する意識を把握しておくことは、これらの基礎資料として大変重要であると思われる。

柔道の意識に関する研究には、これまで赤池ら¹⁾、河崎⁵⁾、尾形⁸⁾⁹⁾、田中ら¹¹⁾¹²⁾の報告がみられるが、これらは警察官、中学生、高校生、短大生を対象としたものである。大学生に対しての研究は、飯田ら⁴⁾、田中ら¹⁰⁾の報告がみられ、私立大学柔道部員や国立大学一般体育授業での柔道受講生を対象としたものである。

本研究は国立大学生を対象に、柔道部員と一般学生の柔道に対する意識について調査したものである。

II. 方法

1. 質問紙の内容及び調査方法

質問紙は表1に示すように、講道館柔道科学研究会の普及と対策班作成の質問紙を用いた。質問項目及びそのカテゴリーの分類にあたっては、松本ら⁷⁾の「各国柔道の実態調査」、花田ら³⁾の「スポーツマン的性格」、尾形⁸⁾の「柔道に対する意識の研究（第1報）」等の文献より、スポーツマン

の特性及びスポーツマンとして要求される項目を収集し、2回の予備調査の結果、項目分析を行い、10人のスタッフによって作成されたものである。

質問項目は社会性、意志性、活動性、身体性、情緒性の5つのカテゴリーに分類されており、次のような項目である。

社会性……(1) 指導性がある、(6) 正義感がある、(11) 礼儀正しい、(16) 誠実である、(21) 公正である、(26) 社交性がある、(31) 規則を守る、(35) 協同的であるの8項目。

意志性……(2) 責任感が強い、(7) 勇気がある、(12) 決断力がある、(17) 忍耐力がある、(22) 努力家である、(27) 自主性がある、(32) 意志が強い7項目。

活動性……(3) 慎重である、(8) 集中力がある、(13) ものごとを正確に行う、(18) 活動的である、(23) 積極的である、(28) 闘争的である、(33) 実践的であるの7項目。

身体性……(4) からだに自信をもっている、(9) 体力的に持久力がある、(14) 安全感がある、(19) 健康的である、(24) 精神的である、(29) 動作が機敏である、(34) 節制心があるの7項目。

情緒性……(5) 情緒が安定している、(10) ものごとにこだわらない、(15) 落ちつきがある、(20) 素直である、(25) 明朗である、(30) 楽天的であるの6項目、計35項目で成り立っており、質問紙ではそれらの項目はランダムに配置され、それぞれの項目について5段階評価尺度法によって調査が行われた。

2. 被検者

本研究の調査対象となったのは、全国の国立大学、Y大学、I大学、SA大学、SHI大学、KYO大学、O大学、KA大学、F大学の男子学生で柔道部員126名、一般学生(運動部に所属していない)173名の総計299名である。調査は昭和63年10月から平成元年1月にかけて各大学で行われた。学生たちが質問項目に回答する際、その大学の指導者のイメージにならないよう指示した。回収された質問紙のうち、回答欄に不備のあるもの、あるいは回答態度に不まじめさのうかがわれるものはなかった。

3. 意識の推定方法

本研究では柔道に対する意識の構造を統計学的立場から推定するための方法として、因子分析を用いることにする。

調査後回収された質問紙を柔道部員と一般学生の2群に分け

- もっとも強く感じる……5
- かなり強く感じる……4
- 普通……3
- あまり感じない……2
- まったく感じない……1

として調査内容を得点化し、得られた結果について平均値、標準偏差、相関行列(35×35)を計算し、主因子法を施し、固有値が1.0以上の主成分についてノーマル・バリマックス基準による直交回転を適用し計算を行った。

III 結果と考察

1. 柔道部員よりみた柔道に対する意識の構造

柔道部員126名について方法3からの推定の結果、表3の抽出された回転後の因子負荷行列にみられるように8因子が抽出され、第1因子から第8因子までの全分散に対する累積貢献度は52.317%であった。ここでは因子負荷量が0.4以上を有意とした。表2は相関行列(35×35)である。

表1 質問項目

Table 1. The questionnaire.

あなたは柔道を行っている人に対してどんなイメージを持っていますか。あなたの考えにあてはまる番号を○でかこんでください。この場合できるだけ第一印象で答えてください。

柔道を行っている人は	もく つ感 とも 強	か感 なり 強 く	普 通	あな まり 感 じ	まじ ない 感
1. 指導性がある	5	4	3	2	1
2. 責任感が強い	5	4	3	2	1
3. 慎重である	5	4	3	2	1
4. からだに自信をもっている	5	4	3	2	1
5. 情緒が安定している	5	4	3	2	1
6. 正義感がある	5	4	3	2	1
7. 勇気がある	5	4	3	2	1
8. 集中力がある	5	4	3	2	1
9. 体力的に持久力がある	5	4	3	2	1
10. ものごとにこだわらない	5	4	3	2	1
11. 礼儀正しい	5	4	3	2	1
12. 決断力がある	5	4	3	2	1
13. ものごとを正確に行う	5	4	3	2	1
14. 安全感がある	5	4	3	2	1
15. 落ちつきがある	5	4	3	2	1
16. 誠実である	5	4	3	2	1
17. 忍耐力がある	5	4	3	2	1
18. 活動的である	5	4	3	2	1
19. 健康的である	5	4	3	2	1
20. 素直である	5	4	3	2	1
21. 公正である	5	4	3	2	1
22. 努力家である	5	4	3	2	1
23. 積極的である	5	4	3	2	1
24. 精力的である	5	4	3	2	1
25. 明朗である	5	4	3	2	1
26. 社交性がある	5	4	3	2	1
27. 自主性がある	5	4	3	2	1
28. 闘争的である	5	4	3	2	1
29. 動作が機敏である	5	4	3	2	1
30. 楽天的である	5	4	3	2	1
31. 規則を守る	5	4	3	2	1
32. 意志が強い	5	4	3	2	1
33. 実践的である	5	4	3	2	1
34. 節制心がある	5	4	3	2	1
35. 協同的である	5	4	3	2	1

第1因子

第1因子の全分散に対する貢献度は12.086%であり、因子負荷量が0.4以上のものの項目を因子負荷量の高いものから順に列挙すると

(20) 素直である	(0.724)
(31) 規則を守る	(0.668)
(21) 公正である	(0.613)
(16) 誠実である	(0.609)
(11) 礼儀正しい	(0.607)
(35) 協同的である	(0.497)
(1) 指導性がある	(0.452)
(34) 節制心がある	(0.451)
(12) 決断力がある	(0.424)
(2) 責任感が強い	(0.412)

の10項目が抽出された。(11), (16), (21), (31), (35)は社会性, (2), (12)は意志性, (20)は情緒性, (34)は身体性に関する項目であるが、素直であるということは、社会に対しての基本的な姿勢であることからして、ここでは社会性因子と解釈した。

第2因子

第2因子の貢献度は9.600%であり、有意の項目を列挙すると

(25) 明朗である	(0.731)
(26) 社交性がある	(0.704)
(23) 積極的である	(0.651)
(18) 活動的である	(0.557)
(24) 精力的である	(0.535)
(29) 動作が機敏である	(0.513)
(30) 楽天的である	(0.422)

の7項目が抽出された。(25), (30)は情緒性, (18), (23)は活動性, (24), (29)は身体性, (26)は社会性に関する項目であるので、ここでは快活で精力的な活動性因子と解釈した。

第3因子

第3因子の貢献度は6.423%であり、有意の項目を列挙すると

(14) 安全感がある	(0.645)
(15) 落ちつきがある	(0.600)
(13) ものごとを正確に行う	(0.588)
(5) 情緒が安定している	(0.492)

の4項目が抽出された。(5), (15)は情緒性, (13)は活動性, (14)は身体性に関する項目であるので、ここでは安定した情緒性因子と解釈した。

第4因子

第4因子の貢献度は6.191%であり、有意の項目を列挙すると

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1.000	0.491	0.263	0.208	0.361	0.562	0.544	0.466	0.143	0.347
2		1.000	0.333	0.098	0.416	0.594	0.437	0.487	0.051	0.372
3			1.000	0.141	0.244	0.254	0.253	0.342	0.103	0.142
4				1.000	0.060	0.231	0.368	0.108	0.264	0.020
5					1.000	0.598	0.375	0.393	0.110	0.316
6						1.000	0.640	0.497	0.185	0.341
7							1.000	0.309	0.393	0.362
8								1.000	0.123	0.291
9									1.000	0.199
10										1.000
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										

- (4) からだに自信をもっている (0.584)
 (7) 勇気がある (0.530)
 (17) 忍耐力がある (0.493)
 (28) 闘争的である (0.470)
 (9) 体力的に持久力がある (0.462)

表2 相関行列 (柔道部員)
Table 2. Correlation matrix (Judo athletes.)

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
0.488	0.477	0.373	0.242	0.253	0.435	0.393	0.398	0.367	0.446
0.326	0.493	0.415	0.311	0.410	0.559	0.324	0.331	0.175	0.457
0.077	0.234	0.207	0.204	0.356	0.309	0.235	0.026	0.033	0.164
0.204	0.123	-0.019	0.079	-0.020	0.057	0.250	0.203	0.345	-0.065
0.230	0.378	0.430	0.434	0.498	0.445	0.157	0.140	0.118	0.244
0.470	0.464	0.455	0.367	0.381	0.567	0.354	0.364	0.338	0.353
0.395	0.445	0.386	0.268	0.312	0.406	0.463	0.491	0.372	0.343
0.249	0.398	0.295	0.289	0.366	0.465	0.340	0.215	0.171	0.308
0.053	0.175	0.220	0.157	0.157	0.148	0.371	0.252	0.146	0.089
0.207	0.531	0.244	0.100	0.244	0.319	0.201	0.328	0.176	0.337
1.000	0.418	0.320	0.252	0.229	0.407	0.365	0.193	0.375	0.383
	1.000	0.556	0.358	0.360	0.464	0.298	0.240	0.240	0.434
		1.000	0.515	0.476	0.425	0.246	0.303	0.163	0.412
			1.000	0.586	0.326	0.198	0.081	0.221	0.333
				1.000	0.540	0.270	0.177	0.169	0.373
					1.000	0.381	0.186	0.185	0.518
						1.000	0.355	0.193	0.215
							1.000	0.417	0.143
								1.000	0.258
									1.000

の5項目が抽出された。(4), (9)は身体性, (7), (17)は意志性, (20)は活動性に関する項目であるので、ここでは強い意志をもった身体性因子と解釈した。

第5因子

第5因子の貢献度は5.471%であり、有意の項目を列挙すると

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
0.472	0.296	0.400	0.409	0.340	0.258	0.217	0.146	0.265	0.371
0.487	0.212	0.340	0.276	0.190	0.127	0.256	-0.027	0.203	0.143
0.203	0.193	0.069	0.249	0.105	0.048	0.232	0.052	0.162	0.089
0.053	0.273	0.023	0.248	0.122	0.086	0.218	0.263	0.020	0.131
0.530	0.310	0.194	0.192	0.177	0.064	0.140	-0.164	0.220	0.083
0.535	0.400	0.346	0.372	0.252	0.149	0.315	0.019	0.181	0.150
0.456	0.384	0.348	0.505	0.264	0.271	0.354	0.194	0.203	0.331
0.389	0.360	0.330	0.276	0.282	0.142	0.346	-0.015	0.186	0.176
0.179	0.199	0.052	0.282	0.114	0.078	0.161	0.129	0.192	0.104
0.386	0.219	0.343	0.380	0.291	0.272	0.267	0.024	0.264	0.420
0.421	0.308	0.212	0.248	0.195	0.098	0.165	0.016	0.132	0.124
0.516	0.337	0.359	0.323	0.231	0.146	0.328	0.111	0.305	0.274
0.446	0.274	0.243	0.120	0.034	0.090	0.251	-0.002	0.292	0.101
0.355	0.202	0.073	0.039	0.131	0.051	0.083	0.055	0.218	0.005
0.461	0.223	0.113	0.194	0.088	0.077	0.169	-0.202	0.266	-0.024
0.568	0.293	0.189	0.267	0.115	0.020	0.287	-0.091	0.126	0.091
0.306	0.504	0.263	0.380	0.142	0.150	0.226	0.200	0.005	0.191
0.260	0.231	0.553	0.496	0.414	0.476	0.315	0.178	0.323	0.328
0.318	0.208	0.282	0.370	0.375	0.232	0.216	0.206	0.322	0.120
0.637	0.185	0.175	0.263	0.261	0.158	0.181	-0.022	0.281	0.127
1.000	0.383	0.269	0.259	0.237	0.141	0.299	-0.035	0.293	0.124
	1.000	0.398	0.333	0.212	0.176	0.466	0.149	0.189	0.106
		1.000	0.586	0.526	0.459	0.421	0.234	0.373	0.400
			1.000	0.481	0.324	0.372	0.182	0.324	0.369
				1.000	0.540	0.220	0.094	0.406	0.334
					1.000	0.391	-0.006	0.346	0.415
						1.000	0.080	0.206	0.288
							1.000	0.070	0.153
								1.000	0.217
									1.000

- (3) 慎重である (0.503)
(8) 集中力がある (0.482)
(16) 誠実である (0.429)
(15) 落ちつきがある (0.419)
(2) 責任感が強い (0.408)

31	32	33	34	35
0.361	0.366	0.213	0.189	0.335
0.400	0.276	0.168	0.365	0.243
0.170	0.129	0.153	0.222	0.071
0.071	0.229	0.273	0.058	0.036
0.350	0.261	0.179	0.313	0.187
0.464	0.381	0.237	0.283	0.315
0.307	0.377	0.237	0.197	0.317
0.226	0.377	0.291	0.368	0.275
0.095	0.212	0.201	0.179	0.093
0.145	0.268	0.334	0.156	0.183
0.534	0.310	0.201	0.277	0.339
0.394	0.397	0.335	0.407	0.338
0.443	0.301	0.172	0.410	0.340
0.337	0.249	0.092	0.274	0.250
0.348	0.234	0.146	0.374	0.333
0.564	0.407	0.215	0.520	0.404
0.252	0.380	0.250	0.219	0.308
0.146	0.361	0.390	0.111	0.243
0.258	0.283	0.211	0.136	0.226
0.486	0.346	0.086	0.393	0.449
0.473	0.470	0.220	0.417	0.452
0.274	0.463	0.215	0.249	0.254
0.208	0.313	0.358	0.134	0.334
0.188	0.338	0.383	0.072	0.284
0.136	0.224	0.141	0.081	0.242
0.037	0.252	0.203	0.100	0.316
0.275	0.434	0.333	0.260	0.237
-0.031	0.128	0.140	-0.147	0.080
0.142	0.165	0.175	0.171	0.262
0.039	0.161	0.242	-0.011	0.148
1.000	0.484	0.205	0.467	0.340
	1.000	0.443	0.291	0.279
		1.000	0.224	0.229
			1.000	0.321
				1.000

- 第2因子 快活で精力的な活動性因子
 第3因子 安定した情緒性因子
 第4因子 強い意志をもった身体性因子
 第5因子 誠実で責任感のある活動性因子
 第6因子 意志性因子

の5項目が抽出された。(3), (8)は活動性, (16)は社会性, (15)は情緒性, (2)は意志性に関する項目であるので, ここでは誠実で責任感のある活動因子と解釈した。

第6因子

第6因子の貢献度は5.349%であり, 有意の項目を列挙すると

- (27) 自主性がある (0.558)
 (32) 意志が強い (0.522)
 (22) 努力家である (0.494)
 (33) 実践的である (0.474)

の4項目が抽出された。(22), (27), (32)は意志性, (33)は活動性に関する項目であるので, ここでは意志性因子と解釈した。

第7因子

第7因子の貢献度は4.111%であり, 有意の項目を列挙すると

- (10) ものごとにこだわらない (0.572)
 (30) 楽天的である (0.437)

の2項目が抽出された。(10), (30)はともに情緒性に関する項目であるので, ここでは情緒性因子と解釈した。

第8因子

第8因子の貢献度は3.086%であり, 有意の項目を列挙すると

- (6) 正義感がある (0.536)
 (5) 情緒が安定している (0.409)

の2項目が抽出された。(6)は社会性, (5)は情緒性に関する項目であるので, ここでは安定した社会性因子と解釈した。

この結果, 柔道部員の柔道に対する意識の構造は

第1因子 社会性因子

表3 回転後の因子負荷行列 (柔道部員 N=126人)
Table 3. Significant factor loadings (Judo athletes).

項目	因子	1	2	3	4	5	6	7	8	共通性
1		0.452								0.603
2		0.412			0.408				0.569	
3						0.503				0.306
4					0.584					0.412
5				0.492					0.409	0.597
6									0.536	0.735
7					0.530					0.655
8						0.482				0.483
9					0.462					0.368
10								0.572		0.504
11		0.607								0.512
12		0.424								0.614
13				0.588						0.596
14				0.645						0.527
15				0.600		0.419				0.641
16		0.609				0.429				0.666
17					0.493					0.536
18			0.557							0.537
19										0.453
20		0.724								0.656
21		0.613								0.607
22							0.494			0.479
23			0.651							0.643
24			0.535							0.573
25			0.731							0.574
26			0.704							0.535
27							0.558			0.476
28					0.470					0.275
29			0.513							0.410
30			0.422					0.437		0.413
31		0.668								0.590
32							0.522			0.526
33							0.474			0.387
34		0.451								0.451
35		0.497								0.401
貢献量		4.230	3.360	2.248	2.167	1.915	1.872	1.439	1.080	18.311
貢献度		12.086	9.600	6.423	6.191	5.471	6.349	4.111	3.086	52.317
累積貢献度			21.686	28.109	34.300	39.771	45.120	49.231	52.317	

第7因子 情緒性因子

第8因子 安定した社会性因子

という因子から構成されていた。

2. 一般学生からみた柔道に対する意識の構造

一般学生173名について、方法3からの推定の結果、表5の抽出された回転後の因子負荷行列にみられるように12因子が抽出され、第1因子から第12因子までの全分散に対する累積貢献度は69.998%であった。ここでも表3と同様0.4以上の因子負荷量を有意とした。表4は相関行列(35×35)である。

第1因子

第1因子の全分散に対する貢献度は11.129%であり、因子負荷量が0.4以上のものの項目を因子負荷量の高いものから順に列挙すると

(15) 落ちつきがある	(0.808)
(16) 誠実である	(0.768)
(6) 正義感がある	(0.623)
(21) 公正である	(0.617)
(31) 規則を守る	(0.588)
(2) 責任感が強い	(0.473)
(11) 礼儀正しい	(0.438)
(22) 努力家である	(0.408)

の8項目が抽出された。(6)、(11)、(16)、(21)、(31)は社会性、(2)、(22)は意志性、(15)は情緒性に関する項目であるが、責任感が強い、努力をするということは、社会における基本的な態度であることから、ここでは社会性因子と解釈した。

第2因子

第2因子の貢献度は8.466%であり、有意の項目を列挙すると

(26) 社交性がある	(0.783)
(25) 明朗である	(0.734)
(31) 規則を守る	(0.642)
(20) 素直である	(0.570)
(18) 活動的である	(0.547)
(35) 協同的である	(0.444)

の6項目が抽出された。(20)、(25)は情緒性、(26)、(31)、(35)は社会性、(18)は活動性に関する項目であることから、ここでは素直で明朗な社会性因子と解釈した。

第3因子

第3因子の貢献度は7.700%であり、有意の項目を列挙すると

(23) 積極的である	(0.799)
(24) 精力的である	(0.663)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1.000	0.556	0.206	0.010	0.300	0.263	0.281	0.264	0.128	0.150
2		1.000	0.396	-0.006	0.213	0.424	0.266	0.232	0.140	0.143
3			1.000	0.012	0.261	0.189	0.085	0.180	0.054	0.001
4				1.000	0.037	-0.011	-0.004	-0.027	0.086	0.020
5					1.000	0.479	0.315	0.286	-0.035	0.243
6						1.000	0.562	0.303	0.069	0.217
7							1.000	0.314	0.097	0.201
8								1.000	0.297	0.120
9									1.000	0.042
10										1.000
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										

(27) 自主性がある (0.645)

(32) 意志が強い (0.479)

(18) 活動的である (0.426)

(33) 実践的である (0.407)

の6項目が抽出された。(18), (23), (33)は活動性, (27), (32)は意志性, (24)は身体性に関する項目である

表4 相関行列 (一般学生)
Table 4. Correlation matrix (non-athletes).

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
0.233	0.356	0.228	0.112	0.141	0.221	0.186	0.091	0.127	0.280
0.350	0.390	0.295	0.199	0.376	0.429	0.255	-0.077	0.153	0.211
0.249	0.079	0.082	0.182	0.272	0.247	0.103	-0.136	-0.043	0.101
0.076	0.088	0.016	0.009	0.032	-0.026	-0.015	-0.023	0.113	0.087
0.305	0.201	0.191	0.353	0.269	0.300	0.190	-0.007	0.052	0.316
0.445	0.366	0.220	0.382	0.522	0.571	0.322	0.051	0.105	0.382
0.272	0.346	0.173	0.186	0.249	0.299	0.224	0.236	0.168	0.194
0.405	0.439	0.268	0.164	0.217	0.184	0.255	-0.003	0.073	0.203
0.014	0.111	0.022	-0.003	0.032	-0.062	0.245	0.160	0.308	0.076
0.240	0.313	0.140	0.006	0.115	0.249	0.129	0.123	0.054	0.267
1.000	0.416	0.236	0.161	0.448	0.361	0.295	-0.003	0.118	0.298
	1.000	0.490	0.046	0.235	0.337	0.274	0.068	0.200	0.356
		1.000	0.245	0.190	0.342	0.225	0.046	0.111	0.344
			1.000	0.380	0.329	0.098	0.049	0.029	0.235
				1.000	0.616	0.311	0.026	0.163	0.315
					1.000	0.328	0.187	0.091	0.390
						1.000	0.027	0.057	0.124
							1.000	0.257	0.132
								1.000	0.190
									1.000

が、自主性がある。意志が強いは積極的であるにも関連することから、ここでは積極的な活動因子と解釈した。

第4因子

第4因子の貢献度は6.731%であり、有意の項目を列挙すると

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
0.312	0.187	0.090	0.190	0.299	0.131	0.064	-0.077	0.196	-0.010
0.460	0.407	0.034	0.102	0.110	-0.010	0.077	-0.063	0.063	-0.085
0.202	0.217	-0.015	-0.028	-0.042	-0.049	0.061	-0.200	0.043	-0.202
0.083	-0.023	-0.021	0.009	0.007	-0.024	-0.010	-0.007	-0.042	-0.028
0.238	0.109	0.040	-0.008	0.215	0.140	0.144	-0.190	0.023	-0.009
0.473	0.320	0.105	0.121	0.208	0.140	0.091	0.062	0.009	-0.009
0.306	0.251	0.292	0.274	0.149	0.117	0.158	0.145	0.058	0.195
0.171	0.344	0.047	0.070	0.077	0.102	0.086	-0.089	-0.005	-0.036
0.017	0.304	0.067	0.200	0.125	0.185	0.054	0.081	0.040	-0.048
0.102	0.070	0.185	0.134	0.144	0.031	0.080	-0.001	-0.119	0.253
0.375	0.358	0.054	0.077	0.269	0.125	0.062	0.023	0.095	-0.032
0.341	0.388	0.240	0.203	0.268	0.168	0.179	0.060	0.169	0.136
0.333	0.223	0.164	0.218	0.217	0.195	0.220	0.020	0.142	0.096
0.277	0.206	0.144	0.115	0.197	0.161	0.241	-0.070	0.089	0.026
0.423	0.356	0.081	0.125	0.128	0.034	0.072	0.144	0.079	-0.046
0.527	0.341	0.185	0.067	0.211	0.198	0.165	0.077	0.148	0.092
0.223	0.459	0.081	0.185	-0.001	-0.023	0.057	0.132	0.007	-0.059
0.058	-0.011	0.429	0.402	0.311	0.469	0.180	0.164	0.231	0.449
0.110	0.151	0.201	0.309	0.182	0.191	0.173	0.143	0.011	0.079
0.536	0.281	0.113	0.115	0.453	0.353	0.128	-0.091	0.092	0.241
1.000	0.330	0.162	0.164	0.364	0.253	0.165	0.017	0.082	0.110
	1.000	0.189	0.132	0.136	0.069	0.110	0.077	0.003	0.000
		1.000	0.520	0.308	0.321	0.484	0.239	0.246	0.374
			1.000	0.344	0.312	0.303	0.240	0.177	0.327
				1.000	0.638	0.287	0.076	0.265	0.483
					1.000	0.280	0.073	0.260	0.468
						1.000	0.180	0.181	0.147
							1.000	0.210	0.086
								1.000	0.178
									1.000

- (34) 節制心がある (0.732)
(33) 実践的である (0.531)
(35) 協同的である (0.455)
(22) 努力家である (0.438)
(31) 規則を守る (0.428)

31	32	33	34	35
0.185	0.096	0.165	0.103	0.200
0.373	0.298	0.229	0.241	0.218
0.216	0.010	0.192	0.066	0.164
-0.024	-0.021	-0.018	-0.024	-0.030
0.231	0.011	0.109	0.193	0.086
0.500	0.285	0.233	0.254	0.235
0.347	0.381	0.206	0.183	0.121
0.247	0.214	0.261	0.291	0.183
-0.039	0.088	0.028	0.164	0.169
0.033	0.029	0.072	0.200	-0.032
0.509	0.272	0.310	0.345	0.215
0.352	0.326	0.375	0.328	0.291
0.260	0.200	0.337	0.176	0.290
0.248	0.050	0.280	0.268	0.151
0.510	0.280	0.272	0.203	0.064
0.468	0.309	0.274	0.230	0.204
0.365	0.323	0.243	0.327	0.159
0.037	0.125	0.153	0.015	0.132
0.059	0.190	-0.045	0.069	0.109
0.231	0.127	0.209	0.348	0.461
0.428	0.262	0.316	0.289	0.253
0.347	0.398	0.215	0.401	0.198
0.116	0.328	0.359	0.085	0.117
0.152	0.315	0.265	0.100	0.093
0.113	0.053	0.190	0.124	0.219
0.096	0.072	0.209	0.191	0.350
0.087	0.235	0.308	0.023	0.066
0.122	0.249	0.145	0.018	-0.037
0.208	0.102	0.341	0.086	0.123
0.094	0.156	0.205	0.136	0.147
1.000	0.461	0.416	0.374	0.281
	1.000	0.403	0.294	0.165
		1.000	0.364	0.282
			1.000	0.357
				1.000

の5項目が抽出された。(31)、(35)は社会性、(34)は身体性、(33)は活動性、(22)は意志性に関する項目であるが、協同的であるとか規則を守るということは、社会ルールを守る上で基本的なことでもあることから、社会ルールを遵守する身体性因子と解釈した。

第5因子

第5因子の貢献度は5.537%であり、有意の項目を列挙すると

(13) ものごとを正確に行う (0.766)

(12) 決断力がある (0.628)

の2項目が抽出された。(13)は活動性、(12)は意志性に関する項目である。ものごとを正確に行うとともに決断力に優れているので、ここでは決断力のある活動性因子と解釈した。

第6因子

第6因子の貢献度は5.226%であり、有意の項目を列挙すると

(7) 勇気がある (0.777)

(6) 正義感がある (0.528)

(8) 集中力がある (0.455)

(5) 情緒が安定している (0.431)

の4項目が抽出された。(7)は意志性、(6)は社会性、(8)は活動性、(5)は情緒性に関する項目であるが、ここでは勇気、正義感のある意志性因子と解釈した。

第7因子

第7因子の貢献度は5.140%であり、有意の項目を列挙すると

(3) 慎重である (0.724)

(2) 責任感が強い (0.625)

(1) 指導性がある (0.593)

(28) 闘争的である (0.501)

の4項目が抽出された。(3)、(28)は活動性、(2)は意志性、(1)は社会性に関する項目であるが、慎重である、責任感が強いからは安定感を感じるのので、ここでは安定した活動性因子と解釈した。

第8因子

第8因子の貢献度は5.017%であり、有意の項目を列挙すると

表5 回転後の因子負荷行列 (一般学生 N=173人)
Table 5. Significant factor loadings (non-athletes).

項目	因子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	共通性
1								0.593						0.738
2		0.473						0.625						0.768
3								0.724						0.712
4													0.924	0.859
5							0.431			0.574				0.696
6		0.623					0.528							0.764
7							0.777							0.775
8							0.455							0.678
9									0.835					0.762
10												0.854		0.826
11		0.438												0.612
12						0.628								0.746
13						0.766								0.689
14										0.700				0.679
15		0.808												0.736
16		0.768												0.711
17														0.547
18			0.547	0.426										0.621
19									0.523					0.604
20			0.570											0.712
21		0.617												0.646
22		0.408			0.438				0.434					0.637
23				0.799										0.717
24				0.663										0.585
25			0.734											0.709
26			0.783											0.730
27				0.645										0.681
28								0.501						0.659
29											0.783			0.738
30														0.723
31		0.588	0.642		0.428									0.709
32				0.479										0.702
33				0.407	0.531									0.716
34					0.732									0.649
35			0.444		0.455									0.663
貢献量		3.895	2.963	2.695	2.356	1.938	1.829	1.799	1.756	1.543	1.318	1.313	1.094	24.499
貢献度		11.129	8.466	7.700	6.731	5.537	5.226	5.140	5.017	4.409	3.766	3.751	3.126	69.998
累積貢献度			19.595	27.295	34.026	39.563	44.789	49.929	54.946	59.355	63.121	66.872	69.998	

(9) 体力的に持久力がある (0.835)

(19) 健康的である (0.523)

(22) 努力家である (0.434)

の3項目が抽出された。(9)、(19)は身体性、(22)は意志性に関する項目であるが、ここでは健康的な身体性因子と解釈した。

第9因子

第9因子の貢献度は4.409%であり、有意の項目を列挙すると

(14) 安全感がある (0.700)

(5) 情緒が安定している (0.574)

の2項目が抽出された。(14)は身体性、(5)は情緒性に関する項目であるが、ここでは安定した身体性因子と解釈した。

第10因子

第10因子の貢献度は3.766%であり、有意の項目を列挙すると

(29) 動作が機敏である (0.783)

の1項目にのみ有意な負荷量を示した。

第11因子

第11因子の貢献度は3.751%であり、有意の項目を列挙すると

(10) ものごとにこだわらない (0.854)

の1項目にのみ有意な負荷量を示した。

第12因子

第12因子の貢献度は3.126%であり、有意の項目を列挙すると

(4) からだに自信をもっている (0.924)

の1項目にのみ有意な負荷量を示した。そこで第10, 11, 12因子においては、単一の項目からその因子を定義するのは非常に困難であるので、解釈不能としておくことにする。

この結果、一般学生の柔道に対する意識の構造は

第1因子 社会性因子

第2因子 素直で明朗な社会性因子

第3因子 積極的な活動性因子

第4因子 社会ルールを遵守する身体性因子

第5因子 決断力のある活動性因子

第6因子 勇気・正義感のある意志性因子

第7因子 安定した活動性因子

第8因子 健康的な身体性因子

第9因子 安定した身体性因子

第10因子 解釈不能

第11因子 解釈不能

第12因子 解釈不能

という因子から構成されていた。

以上これまで8個及び12個の因子のすべてについて解釈を試みたが、中でも柔道部員からみた柔道に対する意識及び一般学生からみた柔道に対する意識は、0.4以上の有意な因子負荷量の数からみて、第4因子までが特に実質的な側面からの意義を見出すことができるだろう。

3. 両群の柔道に対する意識の構造

図1は、両群から抽出された全因子の全分散に対する貢献度を示したものである。柔道部員の

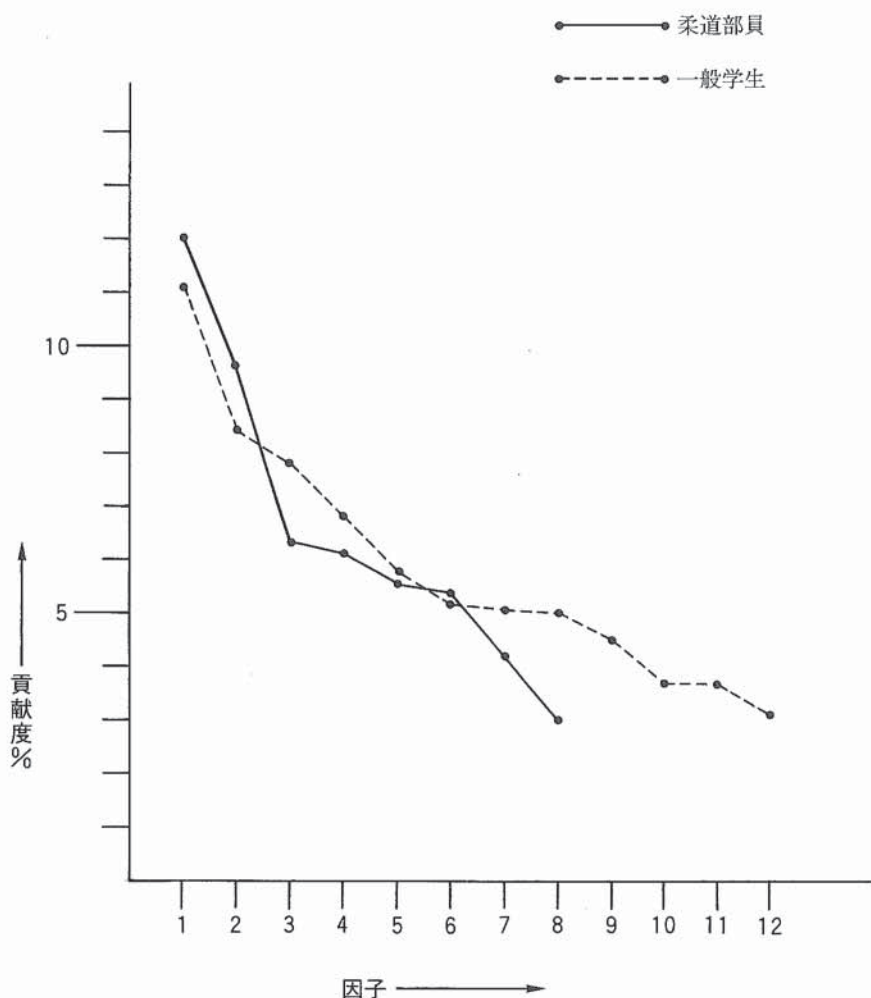


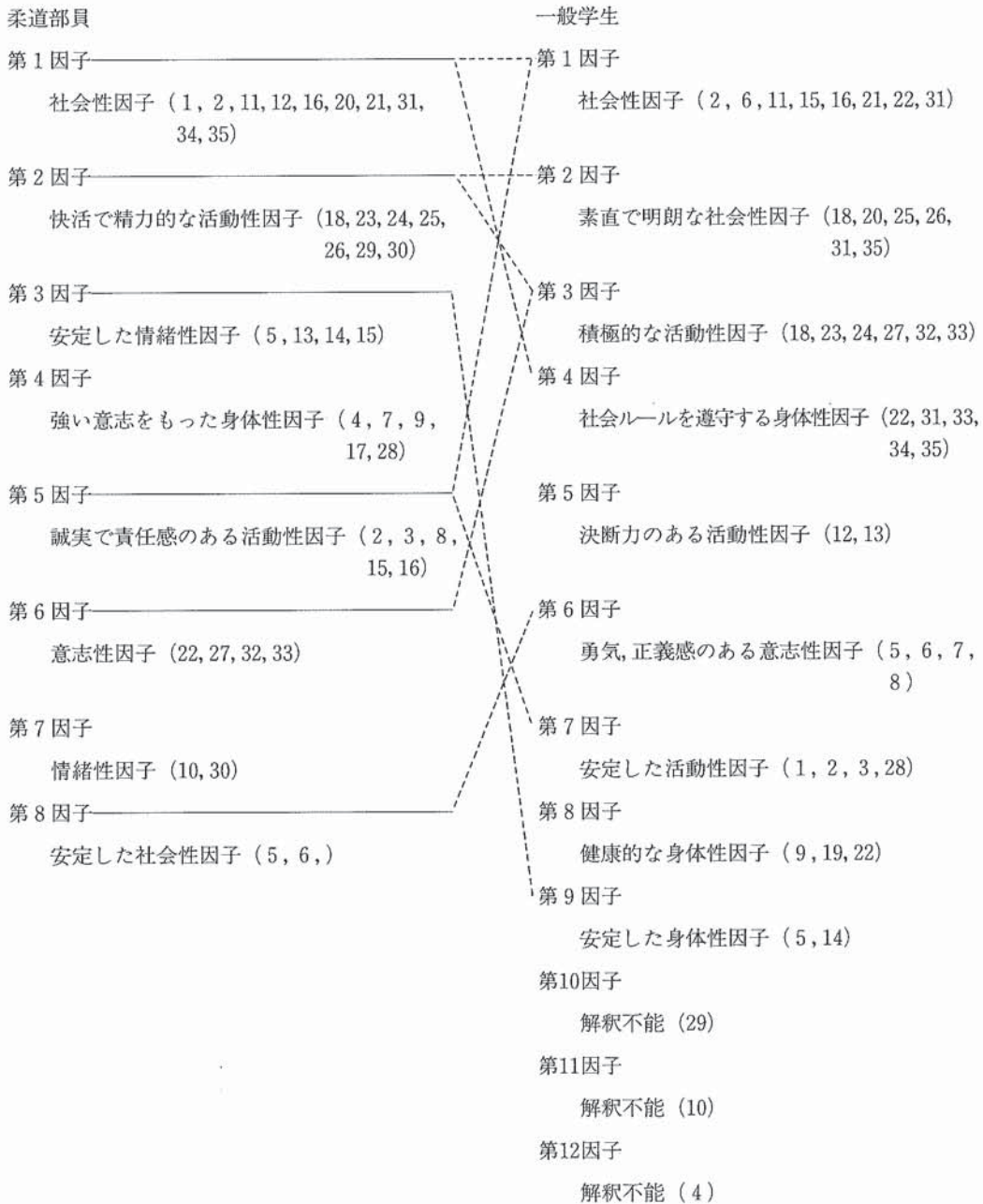
図1 両群の貢献度の比較

Figure 1. Comparison of contribution degree between Judo athletes and non-athletes

累積貢献度は第8因子まで抽出され52.317%, 一般学生のそれは第12因子まで抽出され69.998%であった。図1より次のようなことが考察される。

両群ともに、ここで取り上げた35項目で評価される意識の領域では、各因子の全分散に対する貢献度が第1因子、柔道部員12.086%, 一般学生11.129%, 第2因子、柔道部員9.600%, 一般学生8.466%, 第3因子、柔道部員6.423%, 一般学生7.700%, 第4因子、柔道部員6.191%, 一般学生6.731%であり、この第1, 2, 3, 4因子だけで柔道部員34.300%, 一般学生34.026%となり、本研究で抽出された全因子で説明される分散の65.561% (柔道部員), 48.609% (一般学生)となり、仮定された領域において注目すべき因子であろうと考えられる。

柔道部員の第1因子は「社会性因子」、第2因子は「快活で精力的な活動性因子」、第3因子は「安定した情緒性因子」、第4因子は「強い意志をもった身体性因子」であり、一般学生の第1因



----- 類似性のみられる因子 注) () 内の数字は質問項目の番号を示す

図2 両群間の因子構造の類似性

Figure 2. Similarity of factor construction between Judo athletes and non-athletes

子は「社会性因子」、第2因子は「素直で明朗な社会性因子」、第3因子は「積極的な活動性因子」、第4因子は「社会ルールを遵守する身体性因子」であった。両群とも第1因子は社会性因子で注目され、活動性因子、身体性因子も両群に見られ類似していた。これは学生の柔道に対する意識構造が社会性、活動性、身体性因子を主としてなされていることを示すものと思われる。柔道は社会において規則を守る、礼儀正しい、公正である等の基本的な態度が養成されるとみており、また身体的な接触を主として行う対人形式の格闘競技であるため、試合時間いっぱいエネルギーに動きまわって、技を掛け続ける体力が要求され、これらのことが活動性、身体性因子として結果に表われているものと思われる。

図2は両群から抽出された各因子の類似性を示したものである。

両群間で0.4以上の因子負荷量で、同じ質問項目が2～3項目共通している因子について「類似性のみられる因子」とした。柔道部員の第1因子と一般学生の第1因子のあいだにおいて意志性因子の(2) 責任感が強い、社会性因子の(11) 礼儀正しい、(16) 誠実である、(21) 公正である、(31) 規則を守るの5項目に共通している因子がみられ、柔道部員の第1因子と一般学生の第4因子のあいだにおいて社会性因子の(31) 規則を守る、(35) 協同的である、身体性因子の(34) 節制心があるの3項目に、柔道部員の第2因子と一般学生の第2因子のあいだにおいて活動性因子の(18) 活動的である、情緒性因子の(25) 明朗である、社会性因子の(26) 社交性があるの3項目に、柔道部員の第2因子と一般学生の第3因子のあいだにおいて活動性因子の(18) 活動的である、(23) 積極的である、身体性因子の(24) 精神的であるの3項目に、柔道部員の第3因子と一般学生の第9因子のあいだにおいて情緒性因子の(5) 情緒が安定している、身体性因子の(14) 安全感があるの2項目に、柔道部員の第5因子と一般学生の第1因子のあいだにおいて意志性因子の(2) 責任感が強い、情緒性因子の(15) 落ちつきがある、社会性因子の(16) 誠実であるの3項目に、柔道部員の第5因子と一般学生の第7因子のあいだにおいて意志性因子の(2) 責任感が強い、活動性因子の(3) 慎重であるの2項目に、柔道部員の第6因子と一般学生の第3因子のあいだにおいて意志性因子の(7) 自主性がある、(32) 意志が強い、活動性因子の(33) 実践的であるの3項目に、柔道部員の第8因子と一般学生の第6因子のあいだにおいて情緒性因子の(5) 情緒が安定している、社会性因子の(6) 正義感があるの2項目に共通している因子がみられた。以上9つの因子間において類似性が認められた。中でも社会性因子が9項目と最も多く、意志性、活動性因子が5項目、情緒性因子が4項目、身体性因子が3項目みられ、合計26項目と両群間に非常に数多くの類似性のみられる因子の項目が存在した。

今回は飯田ら⁴⁾、田中ら¹⁰⁾¹¹⁾の報告より類似性が見られる因子の数も多く、質問項目の5つのカテゴリー(社会性、意志性、活動性、身体性、情緒性)において程度の差はあるものの、両群間に類似性の因子が見られた。このことは柔道の教育目的が、学生たちに理解され、その価値が位置づけられている結果であろうと推察された。

IV. まとめ

講道館柔道科学研究会、普及と対策班作成の質問紙を用いて、全国の国立大学の男子学生、柔道部員126名、一般学生173名を対象として、柔道に対する意識の構造について比較検討した。その結果、次の結論が得られた。

1. 柔道部員の第1～4因子と一般学生のそれらは、本研究で抽出された全因子で説明される分散の65.56% (柔道部員)、48.60% (一般学生) となり、注目すべき因子であると考えられる。

2. 質問項目の5つのカテゴリーにおいて社会性、意志性、情緒性、活動性、身体性の各因子について、両群間に類似性が見られる因子の数は多かった。
3. 今回調査した学生の柔道に対する意識構造は、両群ともよく類似し、指導の効果が学生に深く浸透し、柔道の教育目標及び価値が高く位置づけられていると思われた。

参考文献

- 1) 赤池進司, 醍醐敏郎, 佐藤毅, 静岡県警察学校初任科生の柔道に対する意識の因子分析的研究, 警察学論集, 38—6, pp. 144-157, 1985.
- 2) 船越正康, 河崎武夫, 柔道に関する意識分析——青年期について——, 武道学研究, 16—1, pp. 56-57, 1984.
- 3) 花田敬一, 竹村昭, 藤善尚憲, スポーツマン的性格, 不昧堂, pp. 175-244, 1970.
- 4) 飯田穎男, 遠藤純男, 菅波盛雄, 青柳領, 田中秀幸, 武内政幸, 吉岡剛, 柔道選手に対する image の因子分析的研究, 武道学研究, 16—2, pp. 8-17, 1984.
- 5) 河崎武夫, 柔道のイメージに関する研究, 柔道, 46—10, pp. 57-63, 1975.
- 6) 松本芳三, 細川熊蔵, 工藤信雄, 醍醐敏郎, 佐藤毅, 飯田穎男, 松下三郎, 手塚政孝, 尾形敬史, 小俣幸嗣, 柔道の普及と対策に関する研究, 講道館柔道科学研究会紀要, 第6輯, pp. 45-61, 1984.
- 7) 松本芳三, 川村禎三, 各国柔道の実態調査, 講道館柔道科学研究会紀要, 第2輯, pp. 13-20, 1963.
- 8) 尾形敬史, 柔道に対する意識の研究(第1報)——中学生を対象にして——, 武道学研究, 11—1, pp. 32-34, 1978.
- 9) 尾形敬史, 柔道に対する意識の研究(第2報)——高校生を対象にして——, 武道学研究, 12—1, pp. 3-4, 1980.
- 10) 田中秀幸, 飯田穎男, 本学学生の柔道に対する意識の研究, 静岡大学教養部研究報告, 第21巻, pp. 37-55, 1985.
- 11) 田中秀幸, 水嶋武雄, 高校生の柔道に対する意識の研究, 静岡大学教養部研究報告, 第25巻, pp. 33-51, 1989.
- 12) 田中秀幸, 大石孝三, 女子短大生の柔道に対する意識の研究, 静岡大学教養部研究報告, 第27巻, pp. 41-60, 1991.